

● コウノトリ受入式が行われました。（平成 23 年 12 月 10 日）

12 月 10 日、本市中野町のコウノトリ飼育ケージ前にて、兵庫県から移送されたコウノトリのつがい 1 組の受入式が行われました。同日の早朝に兵庫県豊岡市を出発した 2 羽は、午前 11 時 20 分ごろ、地元坂口・白山地区の住民など約 500 名に見守られながら、ケージの中に放たれました。長旅の疲れはあまり見られず、ケージの中を落ち着いた様子で歩きまわっていました。



運搬用の箱からコウノトリ放つ様子



周囲の様子を伺うコウノトリ



時折羽ばたくことも

● コウノトリの飼育がはじまりました。（平成 23 年 12 月 10 日）

兵庫県以外で全国初となる、コウノトリの定着を目指した飼育が、本市中野町で始まりました。このことは、福井県が、兵庫県・文化庁・環境省との協議を整え、12 月 10 日に兵庫県立コウノトリの郷公園から、つがい 1 組のコウノトリを借り受け、実施するものです。

県では、コウノトリを自然再生のシンボルとして位置づけ、コウノトリの定着できる環境づくりを目指し、田んぼなどの生き物を増やすための田園環境整備事業など自然再生活動を進めていく計画です。

本市では、福井県が実施するこのコウノトリの飼育・繁殖業務に協力し、その活動を通じて先般策定した「コウノトリが舞う里づくり構想」の推進を図ってまいります。

コウノトリのつがいのご紹介

ケージにいるコウノトリのつがいは、兵庫県豊岡市のコウノトリの郷公園から借り受けました。このペアは、平成 16 年冬に兵庫県でカップルになり、その春から 3 羽のヒナを育てました。これまでに、全部で 41 個の卵を産んでおり、うち 11 個が孵化し、巣立ちました。



J218(オス、写真左) 足環(あしわ)の色 白・緑

- 平成9年5月12日、東京都多摩動物公園で生まれる。
- 平成15年に兵庫県立コウノトリの郷公園に移送される。

J238(メス、写真右) 足環(あしわ)の色 白・橙

- 平成10年5月12日、東京都多摩動物公園で生まれる。
- 平成15年に兵庫県立コウノトリの郷公園に移送される。

このつがいから生まれた11羽のコウノトリのうち、4羽が兵庫県の野外に放たれています。うち1羽は死亡してしまいましたが、残る3羽は両親にあいにくる可能性があります。

● 飼育中のコウノトリに産卵が確認され、検卵を行いました！！

(平成25年5月15日)

平成25年5月3日(金)朝、越前市白山地区で飼育されているコウノトリ「ふっくん」と「さっちゃん」に産卵(1卵目)が確認されました。

平成25年5月4日(土) 23:53 に2卵目、5月7日(火) 2:10 に3卵目、5月9日(木) 8:34 に4卵目、5月11日(土) 3:48 に5卵目が確認されました。

産卵した卵の有精・無精を確認する検卵を平成25年5月15日(水)《第1、2卵》、5月24日(金)《第3、4、5卵》に行いましたが残念ながら5個すべてが無精卵でした。

コウノトリ、ふっくん(オス)、さっちゃん(メス)ペアのヒナ誕生は来年に期待しましょう。

● 白山地区で飼育されているコウノトリが産卵しました。

(平成 26 年 5 月 19 日)

5 月 19 日、15 時 30 分ころ中野町の飼育ケージで飼育されているコウノトリに 2 個の産卵が確認されました。

これは昨年に引き続き 2 年連続のこととなります。

これまで巣の中には、コウノトリの繁殖行動を促す為の刺激になるといわれている、木でできた偽の卵(擬卵)が入れていました。

擬卵は、5 月 3 日に巣の中に入れられました。この擬卵を、5 月 3 日に「ふっくん」が抱卵し、5 月 8 日からは「さっちゃん」も抱卵を始めました。

5 月 12 日に飼育員が巣の中を確認したところ、産卵は確認されませんでした。

このことから、産卵は 5 月 12 日から 5 月 19 日の間に行われたものと思われます。

現在「ふっくん」と「さっちゃん」は熱心に抱卵を続けています。



現在の巣の中の様子

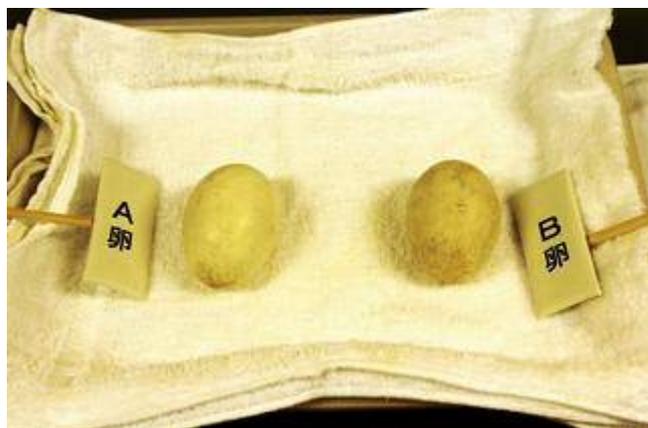
※ 4 個中 2 個が擬卵で、2 個が産卵されたものとなります。

● コウノトリの卵の検卵作業が行われました

(平成 26 年 5 月 29 日)

本日 5 月 29 日、コウノトリ「さっちゃん」が 5 月中旬に産卵した 2 個の卵について、有精卵または無精卵を調べる、検卵作業が行われました。

その結果、この 2 個の卵は無精卵であることがわかりました。



「さっちゃん」が産卵した 2 個の卵



検卵作業の様子

今後、兵庫県立コウノトリの郷公園から、有精卵を譲りうけヒナを孵化させる試みが検討されます。

● コウノトリ有精卵、白山地区飼育施設へ

(平成 26 年 6 月 6 日)

平成 26 年 6 月 6 日、兵庫県立コウノトリの郷公園より有精卵 3 個を白山地区にあるコウノトリ飼育施設へ移送しました。この有精卵は、孵卵器(卵を温める装置)の中で孵化予定日の 2 日前まで温めます。その後、白山地区で飼育している T ペア「ふっくん(オス)」「さっちゃん(メス)」の巣の中に入れる予定です。



有精卵



孵卵器に入れた状態

写真提供: 福井県

有精卵(3個)の親鳥

(ARペア)

オス J395

足環の色 緑・緑

H.17.03.29 東京都多摩動物公園で生まれる。

H.24.05.29 東京都多摩動物公園から兵庫県へ

メス J289

足環の色 赤・黄白緑

H.12.04.30 コウノトリ保護増殖センターで生まれる。

移送した卵

2014年5月10日～17日にかけて産まれた卵 3卵

● 「ふっくん」と「さっちゃん」の巣に有精卵が入れられました。

(平成26年6月10日)

6月10日火曜日13時45分ごろ、6月6日に兵庫県から移送されたコウノトリの有精卵(3個)が

「ふっくん」と「さっちゃん」の巣に入れられました。

現在、2羽のコウノトリは有精卵を抱いて温めています。

順調に卵を温め続けた場合、ヒナの誕生は今週末から来週初めになる模様です。



有精卵の準備作業 (写真提供:福井県)



巣の中に投入された有精卵 (写真提供:福井県)

● 白山地区でコウノトリの雛が2羽孵化しました。

(平成26年6月9日)

6月6日金曜日に兵庫県から移送された、コウノトリの有精卵3個のうち2個について雛の孵化が確認されました。

3個の有精卵は、6月10日月曜日に親鳥の巣に投入され、親鳥が温めていました。

6月13日金曜日の夕方6時30分ごろ親鳥が巣から卵の殻のようなものを捨てている様子が監視カメラに記録されたことから

雛の孵化した可能性が高まったため、6月14日土曜日の朝に飼育員が巣の中を確認し、2羽のヒナの孵化を確認しました。



卵の殻を排除するオスの「ふっくん」(写真:福井県提供)



巣の中で孵化が確認された2羽の雛(福井県提供)

● 白山地区でコウノトリの雛(3羽目)が孵化しました。

(平成26年6月16日)

6月16日月曜日に白山で飼育しているコウノトリの3羽目の雛の孵化を確認しました。

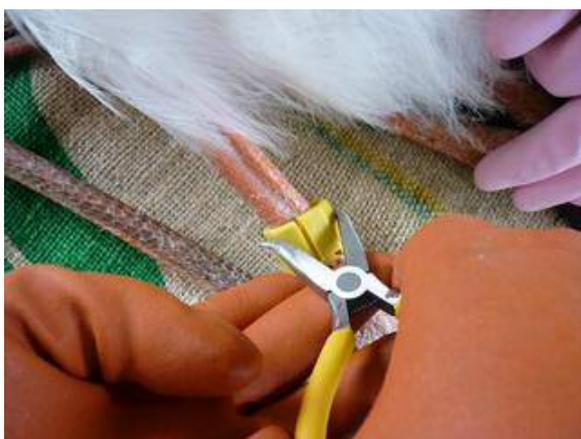
これで有精卵3個すべてから雛が誕生しました。「ふっくん」、「さっちゃん」が雛に餌のドジョウを与える様子も見られています。



写真 福井県提供

- 6月に産まれた3羽のヒナに足環装着を行い識別できるようになりました。(平成26年8月6日)

8月6日水曜日、6月中旬にふ化した3羽のコウノトリのヒナに足環の装着作業を行いました。



ヒナへの足環(エルザリング)装着の様子 (写真提供 福井県)

合わせて、DNA分析による性別の判定を行うため、羽毛と組織の一部が採取されました。

ヒナの性別は今後分析が行われ、8月17日、日曜日にサンドーム福井で行われるコウノトリ子どもフォーラムにて発表されます。ヒナの足環装着作業と並行し、ケージ天井ネットを閉じる作業と草刈り等の作業が行われました。



ケージ天井ネット張り作業の様子（写真提供 福井県）

3羽のヒナはいずれも元気な様子で親鳥と変わらないくらいに大きく成長しています。



巣に戻されたヒナ手前から J508, J507, J509（写真提供 福井県）

3羽のコウノトリの足環、個体識別番号及び体重は以下の通りです。

コウノトリヒナの情報

- 1 識別番号: J507
足環の色: 右;赤, 左:赤
体重:4050g
ふ化:2014年6月13日金曜日(54日齢)
- 2 識別番号: J508
足環の色: 右;青, 左:青
体重:4050g
ふ化:2014年6月14日土曜日(53日齢)
- 3 識別番号: J509
足環の色: 右;黄, 左:黄
体重:3350g
ふ化:2014年6月15日日曜日(52日齢)

● 今年産卵した卵は全て無精卵でした(平成 27 年 5 月 1 日)

越前市白山地区で飼育されているコウノトリ「さっちゃん」が産卵した 5 個の卵のうち 4 個について

有精卵または無精卵について判断する検卵が行われました。

5 個の卵のうち 1 つは、4 月 25 日(土曜日)に親鳥が抱卵中、割れてしまいました。

残り 4 個について検卵したところ、全て無精卵であることがわかりました。

現在、卵はすべて回収され、もう一度産卵させる試みが行われます。



記者会見の様